

6

ボンネットロックステーを解除し、各ブラケットのボールピボットに①ガスダンパー両端のピボットケースを押込んで取付けします。

LWR



UPR



①ガスダンパーの上下にご注意ください。ボンネット破損の危険があります。

7

1. 全てのネジの締め忘れが無いかを確認します。
2. ディーゼル車はボンネットダンパーとPCMハーネスに適切なクリアランスが確保できているかを再度確認します。
3. ボンネットを上下させ、スムーズに動くことを確認します。
4. ボンネットを閉める際には、開閉角の60%程度下げた状態で急激にガスダンパーの反力が低下する位置がありますので、この位置からボンネットを落下させて閉めて下さい。



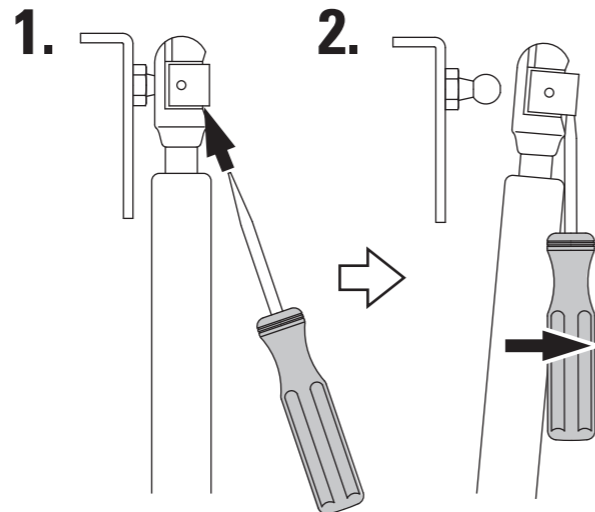
ガスダンパーの取外し方法

ガスダンパーの上下を間違えたり、補修品に交換するなど脱着作業が必要な場合は、以下の要領に従いガスダンパーを取外してください。

1. マイナスドライバーをロック金具とピボットケースの隙間に差込みます。
2. ガスダンパーとマイナスドライバーを矢印の方向に引っ張り、取外します。

※ガスダンパーにガス圧が掛からないようにボンネットを軽く持ち上げること、またボンネットダンパーのブラケットには力をかけず、マイナスドライバーだけを矢印方向に引っ張るようにするのが取外し時のコツとなります。

※取外し時ジョイント部の破損に注意してください



Bonnet Damper

ボンネットダンパー No.MDJ2960

取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-1
Tel. 03-3531-8151 Fax. 03-3531-8152

この度はオートエクゼ“ボンネットダンパー”をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本書は当製品を車両に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、取り付けの際には本書に従って作業を進めていただきます。また、作業終了時には本書を必ずお客様にお渡し下さい。

適合車種

デミオ（DJ系）全車

！ご注意（作業者および使用者の方へ）

- 本製品を適合車種以外に使用しないで下さい。破損したり脱落し重大な事故に繋がる恐れがあります。
- 本製品を加工したり、改造しないで下さい。破損したり脱落し重大な事故に繋がる恐れがあります。
- 取付けは、作業に適した平らな場所で行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 取付け時は、車止めをし作業を行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 取付け時は、車が冷えた状態でエンジンを止め、作業を行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 取付け時は、キーシリンダーから鍵を抜き、バッテリーの端子を外してから作業を行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 取付け作業は必ず2人以上で行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 本製品をご使用中は、定期的に製品の状態を確認し、異常が認められた場合は使用を中止して下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- ボンネットの開閉時は作動範囲内の安全を確認して下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- ガスダンパーは経年変化によって反発力が低下します。反発力が低下した場合は補修用ガスダンパー（別売）と交換して下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 火中に投じると高温によりオイルやガスが急激に吹き出し、けがをすることがあります。
- 分解したり切断したりしないでください。押しつぶさないでください。高圧の窒素ガスが封入されているため、シリンダー内のオイルやガスが急激に吹き出したり、ロッドが急激に飛び出し、重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 汚れた場合はかわいた布でやさしく拭いて下さい。シンナーやベンジン等は使わないで下さい。
- ガスダンパーは、完全密封構造ではないために自然放置状態でもシールからの透過現象による微少なリークがあり、使用年数が経過するにつれ、反力が低下します。
- ガスダンパーに強い衝撃を与えないでください。ロッドの曲がりやシリンダーチューブの凹みなどを生じ作動不良の原因となります。
- ロッドに傷、打痕や塗料などの凹凸をつけないでください。また、ロッドに錆を生じさせないように注意してください。シールが損傷し、反力低下の原因となります。

ガスダンパーは必ず太い側が上になるように取り付けて下さい。
向きを逆に取付けると、ボンネットが破損します。

！ご注意（使用者の方へ）

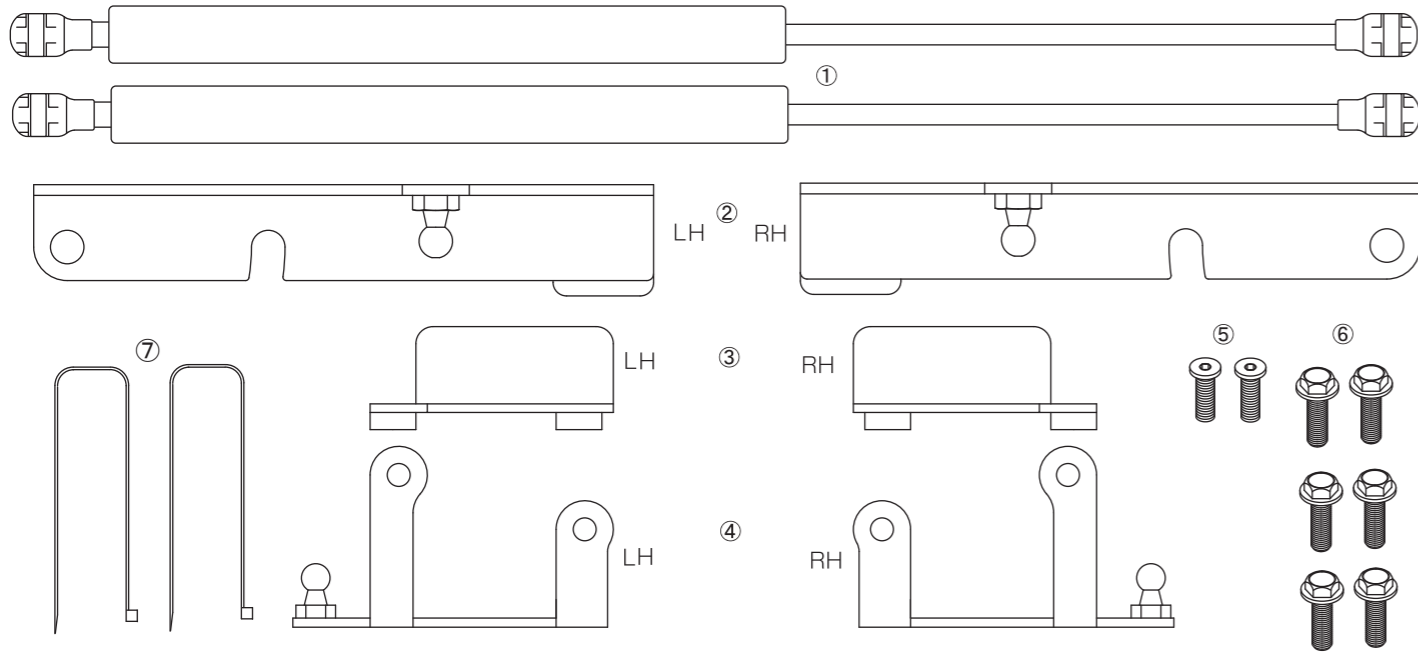
ボンネットの開閉は丁寧に行ってください。本製品を装着することによってボンネットにかかる力が変化し、ボンネットが変形することがあります。1度でもヒンジ部に無理な力がかかると取付け面が変形しボンネットが浮いた状態になることがありますが、このような状態になった場合も当社は一切保証しかねます。

上記の内容を納得された上で、ユーザー様のご責任の範囲で正しくお使い下さい。

また、本製品を使用した事によって発生したいかなる車両の不具合も当社は一切保証しかねます。

構成部品

No.	部品名称	仕様	数	No.	部品名称	仕様	数
①	ガスダンパー	高圧窒素ガス封入式	2	④	マウントブラケットLWR LH/RH	スチール製黒亜鉛メッキ	2
②	マウントブラケットUPR LH/RH	スチール製黒亜鉛メッキ	1/1	⑤	低頭ボルト	M6x20	2
③	バックプレート	スチール製黒亜鉛メッキ	1/1	⑥	ワッシャー付ボルト	M6x20	6
				⑦	結束バンド	予備 1本	2




装着手順

1

* 以下装着手順は左側を示しています。右側も同様に作業して下さい。


1. ボンネットを開けて、ボンネットロックステーをかけます。
2. ボンネットとボンネットヒンジを固定しているボルト2本の内、下側のボルトを完全に取外します。
3. ②マウントブラケットUPRの裏側に貼付してある両面テープの剥離紙をあらかじめ剥がしておきます。
4. ②マウントブラケットUPRを2. で取外したボルトで軽く締込み、仮組みします。
5. ボンネット裏側の破線部分の油分、ヨゴレを中性洗剤の水溶液などを使用して洗浄脱脂します。



2


ボンネットとボンネットヒンジを固定している上側のボルトを緩め、②マウントブラケットUPRを挟込み、本締めします。

締付トルク 20~26 N・m



3

下図を参照し、矢印の2箇所のボルトを外し、マウントブラケットLWRを組立てます。



④ マウントブラケットLWR

③ バックプレート

⑥ M6x20ワッシャー付ボルト


両面テープ

⑥M6x20ワッシャー付ボルトを使用して、③バックプレートと④マウントブラケットLWRを仮組みし、両面テープの剥離紙を剥がしておきます。(左右分仮組みします。)

4

仮組みしたマウントブラケットLWR (LH) を車両に取付けます。

1. 左図を参照し、仮組みしたマウントブラケットLWR (LH) を仮止めます。後側の固定には⑤低頭ボルトM6x20を使用し、前側の固定には⑥ワッシャー付ボルトM6x20を使用します。
2. 仮止めしたマウントブラケットLWR (LH) のボルト2本を本締めします。
3. ③バックプレートと④マウントブラケットLWRを仮組みしている⑥M6x20ワッシャー付ボルトを一旦緩め、③バックプレートをしっかりと下方向に押し付け、両面テープを車体フレームにしっかりと圧着してから⑥M6x20ワッシャー付ボルトを本締めします。



* ヒューズボックスのカバーを取外しておくことで作業がしやすくなります。

△ ガソリン車は右側も同様の手順で取付けします。ディーゼル車に取付ける場合は、5の手順に進みます。

締付トルク ⑤低頭ボルトM6x20 ⑥ワッシャー付ボルトM6x20 8~10 N・m

5

ディーゼル車の場合、マウントブラケットLWR (RH) の取付けの際、配線を一箇所避ける必要があります。

下図を参照し、PCMのコネクタから出ているワイヤリングルームを⑦結束バンドを使用してコネクタと束ね、ボンネットダンパーとのクリアランスを確保します。

左側と同様の手順でマウントブラケットLWR (RH) を車体に取り付けます。

